

# えほんのおへや通信



2015年12月1日(火)発行 サンガこども園

紅葉がピークをむかえています。すっかり秋色にかわりました。今年もあと一月、あわただしい師走です。

**サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」12月号の紹介。**

<p><b>こどものとも 0.1.2</b>      10ヶ月～2歳向き</p> <p>「おいっちに おいっちに」          柚木沙弥郎作</p> <p>男の子がお父さんの足の上で「たっち たっち」。そして、お父さんと一緒に「おいっちに おいっちに」と歩きます。犬さんもぶたさんもくまさんもねずみさんも・・・</p> 	<p><b>こどものとも 年少版</b>      2～4歳向き</p> <p>「りすと もりのあしおと」          八百板洋子文 / ナターリヤ・チャルーシナ絵</p> <p>雪が降り始めた冬の森。りすが、埋めておいたどんぐりを食べようとすると足音がします。きじです。きじやたぬきが、そしてくまが現れ、それぞれりすのどんぐりを食べてしまいます……。</p> 
<p><b>こどものとも 年中向き</b>      4～5歳向き</p> <p>「はりがね なんになる？」          たむらしげる作</p> <p>針金が折れたり曲がったりするうち、動物の形に変わってゆきます。「どんな動物が生まれるのだろう」と想像したり、完成した動物の美しい写真を眺めたり、いろいろな楽しみ方ができます。</p> 	<p><b>こどものとも</b>      5～6歳向き</p> <p>「トッケビと どんぐりムク」～ 朝鮮半島の昔話 ～          イサンギョ再話 / おおたけきよみ訳 / ナヒョンジョン絵</p> <p>働きものの貧しい若者が、おかあさん手製のどんぐりムクを市場へ売りにいきますが、さっぱり売れませんが、しよんぼり家に帰る途中、おそろしいと言われるおばけのトッケビが突然現れます。</p> 
<p><b>ちいさなかがくのとも</b>      3～4～5歳向き</p> <p>「ももんがの ふゆの おうち」          あかしのぶこ作</p> <p>北の森にすむももんがが、冬のおうちをさがします。雪が降っても、冷たい風がふいても、あったかくすごせるおうちはあるかな？</p> 	<p><b>他にこんな絵本も購入しました。</b></p> <p>「おはなしぎょうじのえほん 冬」</p>  <p>5歳から  <b>子どもの未来社</b></p> <p>堀切リエ／文          石井 勉・松田シヅコ・河野あさ子・村田エミコ／絵</p> <p>クリスマスやお正月など、冬の行事のおはなしが満載です。「サンタクロースはだれ？」「びんぼうがみとふくのかみ」、むかしばなしやゆらいばなしの読み聞かせを通して、クリスマスやお正月など、季節ごとにおとずれるさまざまな行事（ぎょうじ）のあれこれを教える絵本です。「おたのしみ」コーナーでは、折り紙、遊び、料理など、行事の楽しみ方をわかりやすく紹介しています。</p>
<p><b>【雑感】</b></p> <p>「大食い」を競うテレビ番組がある。何を競っても良いと思うが、食べる量を競うのはいかなものか。日本を含め世界中に食べるモノがない子どもたちが大勢いる。それを考えると胸が痛い。世界中の子どもたちがせめて飢えから解放されるために、私たち大人たちは何ができるのだろうか。知恵を競ってほしい。</p> 	<p>※年齢は目安です。</p>